

流山高校への防災備蓄倉庫設置 4年前倒して実現へ

うれしい
お知らせです

粘り強い住民運動に行政が応えた

小田桐議員、地元の要望受け、議会で提起

H28年3月議会、小田桐たかし議員の一般質問及び市当局の答弁は以下の通り（概要）です。

（質）昨年春に、地元東初石 したが、27年度補正及び28年2丁目自治会から相談を受け、度当初予算に盛り込まれませんでした。6月議会、我が党議員が取り上げた県立高校における備蓄倉庫の設置について、答弁では、「県立高校用地に自治会所有の倉庫設置はできないけれども、県との協議を進める」とのことでした。

地域防災計画、流山高校への設置はH31年度の予定で

（答）現在、市内の備蓄倉庫 設置はH27年度末で31ヶ所。28年度末には全小中学校で設置が完了する。

県立高校では、28年度、流山高校にアルミ製コンテナ倉庫（クラッカー、アルファ米、飲料水、毛布、大人用オムツ、発電気等）を、29年度に流山

県立高校への設置は市内初

（質）昨年春に、地元東初石 したが、27年度補正及び28年2丁目自治会から相談を受け、度当初予算に盛り込まれませんでした。6月議会、我が党議員が取り上げた県立高校における備蓄倉庫の設置について、答弁では、「県立高校用地に自治会所有の倉庫設置はできないけれども、県との協議を進める」とのことでした。

（答）現在、市内の備蓄倉庫 設置はH27年度末で31ヶ所。28年度末には全小中学校で設置が完了する。

県立高校では、28年度、流山高校にアルミ製コンテナ倉庫（クラッカー、アルファ米、飲料水、毛布、大人用オムツ、発電気等）を、29年度に流山

地元の自治会等の熱意に行政が応えました。みなさんの奮闘と東初石の防災対策の前進に敬意と感謝を申し上げます。

H28年度には『流山市地域防災計画』改定が予定されており、市民・民間事業者・行政の連携を強化する道か、それとも、行き過ぎた自己責任を強める道か：選択によっては現計画よりも対策の後退が懸念されます。今回の経験や『3・11』の教訓を生かし、防災対策の強化・充実を一緒に進めてまいります。



市議

小田桐たかし

首都圏で一番高い 保育料値上げはストップを！

滞納世帯を直撃

『保育園落ちた、日本死ね』というブログが国会も含めいま話題に。国会で「実際本当に起こっているのか、確認しようがない」という安倍首相の認識、「誰が書いたんだよ」「本人出せ」という心ないヤジ…。子育て世代の怒りと共感が広がっています。3月議会の取り組みを紹介します。

新聞社調査に『当分値上げしない』と回答しながら…

小田桐たかし市議は、一般質問や予算委員会の場で、本市の保育料値上げの道理のなさを追究。市当局も「公費負担が一番少ないのは指摘通り」「保育料の滞納が一番多い世帯ほど値上げがされる」と認めました。また、昨年10月実施された日経新聞社調査には、市は「保育料は、当分値上げしない」と回答していた事実を取り上げると否定しませんでした。しかし市長は、「保育園に入れた方には手厚い公費補助があり、入れない方が無認可のもっと高いところへ押しやられる。負担の平準化で、もっと保育園をつくるべきだという趣旨の解説（調査した新聞社）もされていた。見方によって政策判断が異なる」と答弁。首都圏100都市中一番保育料が高い事実を開き直りました。

子ども目線の 保育行政を

法律上、保育所(園)の整備は、流山市の責務です。入所児童一人当たりの市費は月3万2千円余に対し、市長の看板政策『保育ステーション』は利用児童一人当たり市費は月3万1千円余とほぼ同額。保育士による専門性や継続性が危惧される「小規模保育」「家庭的保育」に加え、「株式会社による保育園経営」と規制緩和も次々導入します。

待機児解消へ 開発者負担を求めよ

そもそも、保育所待機児が解消できないのは、自然発生ではありません。保育基盤を整備せぬまま人口誘致を進めたり、待機児の推移を無視して公立保育

昨年起こった高速バス事故は、利便性や経済性の追求が安全の犠牲の上になりあっていることを示しました。ましてや自己選択・自己判断ができない乳幼児への『保育』だけに、政治がもて遊ぶようなことは厳に慎まねばなりません。